



eneGX

オープニング

株式会社エナリス
代表取締役社長 都築実宏

【今年度のテーマ】

地域経済活性化につながる環境価値ビジネス最前線
～脱炭素社会の実現に向けた新たな挑戦～

【今年度のテーマ】

地域経済活性化につながる環境価値ビジネス最前線
～脱炭素社会の実現に向けた新たな挑戦～

脱炭素推進



地域資源
(再エネ・低圧リソース)



経済循環

脱炭素推進

電気として活用する



地域資源
(再エネ・低圧リソース)



経済循環

脱炭素推進

電気として活用する



環境価値を活用する



経済循環

埋もれている環境価値

埋もれている環境価値

約270万 t-CO₂

※ エナリスにて試算

埋もれている環境価値

約270万 t-CO₂

①太陽光発電の自家消費

②その他再エネの自家消費
(小水力・風力・バイオマス)

③出力制御・DR

※ エナリスにて試算

埋もれている環境価値

約270万 t-CO₂

25年度 CO₂削減計画

約3700万 t-CO₂

※24年度(9.82億t-CO₂)
25年度(9.45億t-CO₂)

※ エナリスにて試算

埋もれている環境価値

約270万 t-CO₂  約40万 t-CO₂

23年度 J-クレジット創出量想定

※ エナリスにて試算

埋もれている環境価値

J-クレジット(@6500円)で試算

約270万 t-CO₂ = 約175億円

※ エナリスにて試算

埋もれている環境価値



可視化・定量化し、
新たなビジネスチャンスや、
より効果的な脱炭素政策に繋げる

脱炭素推進

電気として活用する



環境価値を活用する



経済循環

脱炭素推進

電気として活用する

環境価値を活用する



経済循環

バーチャルパワープラント
技術開発着手 VPP実証事業参加
(FY16～FY21)

2016

2017

2018

DERMS開発

2019

2020

再エネアグリゲーション
技術開発着手

2021

VPPサービス開始

アグリゲーション実証
事業開始(FY21～FY23)

2022

再エネアグリゲーションサービス開始
特定卸供給事業者届出 (4/1付)

2023

クレジット創出支援に
関する実証(FY23～FY24)

2024

東電EP様、京セラ様との低圧リソース実証
最適分散制御手法に関する研究(芝浦工大様)
ローカルフレキシビリティに関する研究(北大様)
EV・家庭用蓄電池等の調整力活用に関する研究(東大研究部門ESI様)

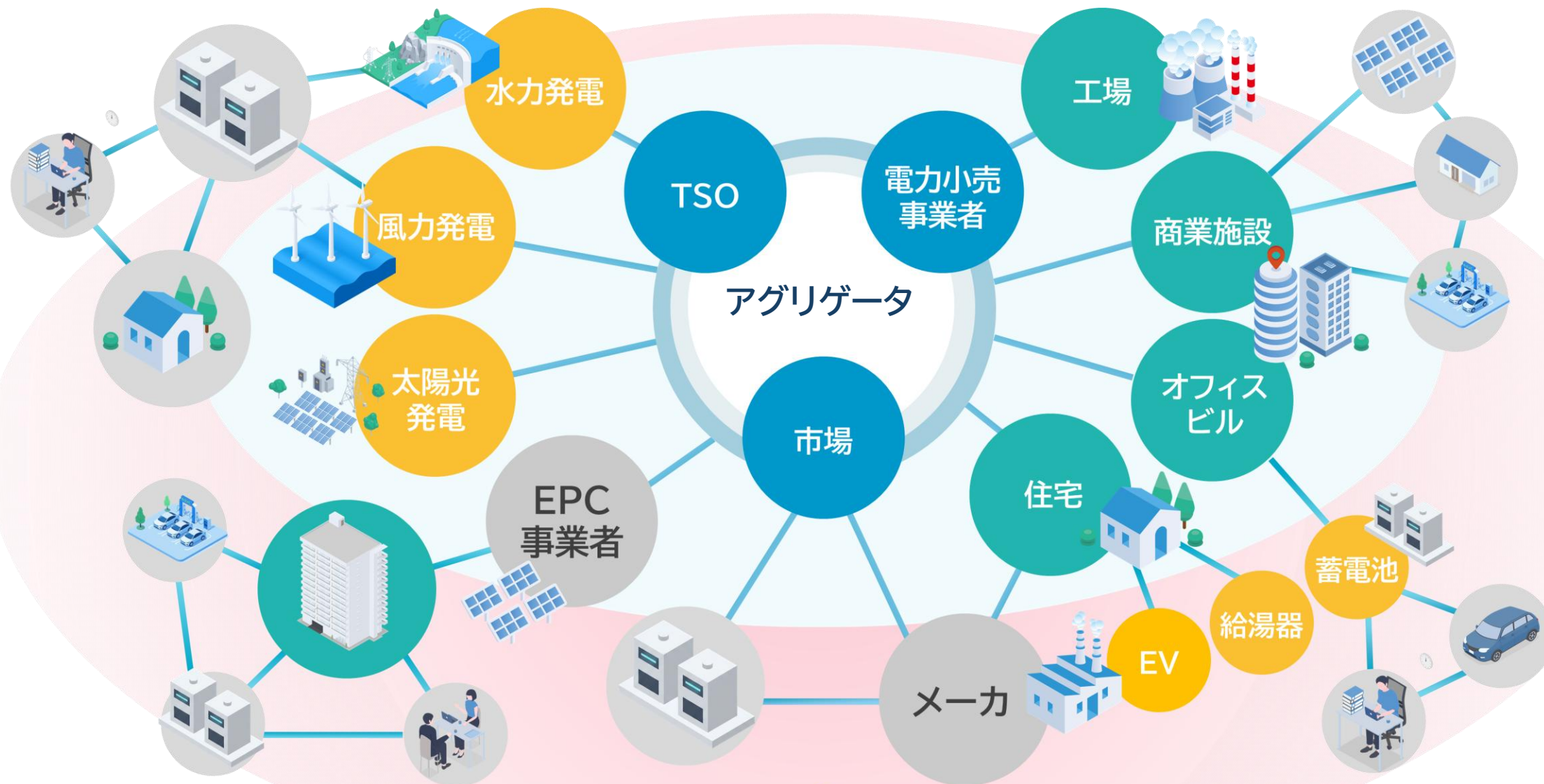
2025

『J-クレジット支援サービス』の提供開始
HCAIでPV発電量予測の異常検知高度化実証
(KDDIアジャイル開発センター様)
電力制御ロジック×MEC-RMの分散制御手法研究(芝浦工大様)
DER等を活用したフレキシビリティ技術開発実証(NEDO実証)
ローソン店舗間で複数の再エネ設備の活用による電力シェア実証

社会に点在していた人と人、モノとモノが



アグリゲーションによって結びつき





社会の脱炭素推進と経済活性化が循環していく



